

2009年度 第3回 理事会報告概要

日時；2010年1月10日(日)9:00~10:50

会場；大阪ガーデンパレス

協議事項

1. 会員の入退会者承認

入会者28名、即時退会者8名、年度末退会者11名、種別変更者5名であった旨報告され承認された。

2. 2010年度年次総会岡山大会開催要綱(案)について

開催日：2010年5月15日(土)・16日(日)、会場：岡山ロイヤルホテル、内容：15日(初日)各種委員会、特別講演、理事会、懇親会、(理事会開催中、理事以外の参加者対象に映画鑑賞を計画)16日(2日目)総会、シンポジウム、視察/観光、を企画している旨報告があり、協議の結果、各種委員会を12:45~14:15とし、特別講演を14:30~16:00とすることで企画原案とおり承認され、準備いただくこととなった。

3. 2011年度年次総会開催候補地の選定について

京都に開催打診を行っているので、再度該当理事と打ち合わせすることとなった。なお、その他の候補地として鹿児島の名前があがった。また沖縄SW協会が2012年度なら開催可能との発言があった。

4. ソーシャルワーカーの概念(案)について

NPO法人の趣旨に従い当協会が考えるソーシャルワーカーを狭義・広義で整理し、市民参加を踏るようにはどうかと資料に基づき案の説明があり、協議の結果、組織強化委員会・研修委員会で十分議論のうえで結論を出すこととなった。会報等への公表は合同委員会の結論を得た上でとされた。

5. NPO法人としての新たな方向づけ

社専協との新たな組織関係について説明があり検討された。今後のJASWの将来における他団体との関係・位置付け・立場に関連し、さらにNPO法人としての歩み・方向性を決めることとなる重要議題であるため、オブザーバーの方を含め、全員に意見を求め協議された。本協会が、日本社会福祉士会を誕生させた沿革、4団体をIFSWへ合同加盟にさせた先駆者としての働きなどを踏まえて、社専協とは今後も連携を保ち、IFSWへも組織として継続加盟を強く要望された。さらにNPO法人として望ましい事業企画構築を図るべき等の意見が多く、協議の結果、社専協とは今後も組織関係を継続すること。NPO法人としての新たな方向付けについて組織的に検討すること、特に2010年度事業計画として可能な限り各種委員会で議論し、具体化できるものは具体化する。基本的な方向を明らかにし前向きに検討しなおすこととされた。

報告事項

1．会員現況報告

説明は割愛された

2．2009年度収支予算執行状況

詳細説明は割愛された。

3．新春福祉公開セミナー終了報告

説明は割愛された。

4．社会福祉専門職団体協議会（社専協）について

本年6月香港でのIFSW世界大会で日本から社専協国際委員会が「災害ソーシャルワークワークショッププロジェクト」を実施すること、またその準備がかなり進んでいること、ならびに2011年「海の日」を中心として、アジア太平洋地域IFSWAP会議が日本で開催することが決定した旨報告があった。なお、6月の香港会議に関するチラシは4月号会報に封入配布する旨報告された。他の報告事項の説明は割愛された。

5．ソーシャルケアサービス従事者研究協議会について

説明は割愛された。

6．その他

説明は割愛された。

以上